

立川国際中等教育学校 4年 O.Y 留学報告書

この報告書は、私の1/23~3/7までの次世代リーダー育成道場での留学の状況についてまとめたものです！約一ヶ月がオーストラリアで終了し、学校生活やホームステイにも慣れてきました。学校が始まっていない最初の一週間では今までにないような孤独感を感じていましたが、留学先の街の雰囲気や自然を感じるために散歩などをしてみることで解消しました。学校に通い始めた頃は友達を作ることに集中し、できるだけ多くの生徒に話しかけ、学校内での疑問などを解決していきました。またホームステイ先にはナウル・ノルウェーからの留学生も居て学校内でも家の中でもよく話しています。ホストブラザーとはこのようにして毎日会話の機会を作り、共に走りに行ったり暇な時間にゲームをして過ごしたりと英語学習という面でも有意義な時間を過ごしていると思います。学校では立国の時と同様、テニス部に入部しようと考えていたが、スポーツが行える部活が野球部のみであったため、「部活」というものには所属していません。何か、毎日行っていた「ランニング」以外にも運動をするべきだと思い、ホストブラザーが通っていた地域のテニススクールに週2で通うことになりました。その講習がある日以外は学校の終了時刻が早いこともあり毎日ランニングをするようにしています。もう少し留学生活に慣れてきてからはボランティア活動、ホストへの日本料理のふるまいも行っていきたいと考えています。学校の授業は思っていたよりも簡単で、特に数学は中学生で行っていた内容がほとんどで、苦労は全くしませんでした。Physical education, Graphic Design は日本では習っていなかった教科であったため、新しい単語や技術を学ぶのに時間がかかりました。睡眠はオーストラリアに来てからはしっかりとるように心がけ、授業中に眠くなることはないようにしています。簡単に感じる数学や物理の中でもわからない単語が頻出するので次回の授業が始まる時には理解できているように、毎夜「新しく学んだ単語」と英語での日記を書き留めています。日記のおかげで会話での語彙力、文章のライティング力が思っているよりも早く伸びていると感じています。土日など、休みの日は後れを取らないよう、日本の数学と化学を勉強したりホストブラザーとハイキング・スイミングを楽しんだりしています！



